

太宰府市俳句ポスト第百十五回入選者

令和四年五月十日〜令和四年八月九日

選者 阿比留初見

環濠に寄る辺を探す夏の蝶 福岡市 島原 仁代

都府楼の今昔語る蝉しぐれ 福岡市 阿部 弘子

草を刈る匂ひ都府楼址の匂ひ 福岡市 吉田 文代

夏の宮子のしあわせに手を合わす 三重県 大島 奈々

乳母車押し渡る橋光る汗 愛媛県 大島 大樹

夕暮れの静けさ誘ふ晩夏かな 福岡市 元村 住雄

五月晴都府楼跡に知る歴史 福岡市 田中 茂樹

奥宮に拾ふ実梅の二つ三つ 那珂川市 池田 ひさ絵

弘法水ふみ涼しき声となる 春日市 永利 五十鈴

願ひごと秘めて茅の輪をくぐりけり 福津市 柴田 佳津子

外つ国の若人集ひ御田植祭 太宰府市 白石 照子

井筒ごと色競ひ合ふ花菖蒲 大野城市 北 嘉与子

絵馬堂に集ふ笑顔や青葉風 福岡市 梶原 敏子

トラックの並ぶうどん屋夏暖簾 太宰府市 松尾 満子

百日白古刹の歴史語るかに 太宰府市 福永 惠美

菖蒲池色の配置も愛でにけり 糸島市 宮脇 睦子

いすの上たんけんしてるありがたい 太宰府市 後藤 翠那 七歳

あつい日もうめがえもちはおいしいな 福岡市 てしま りんたろう 八歳

八女市のねおいしい新茶学んだよ 太宰府市 ごとう あやな 九歳

みどりの日グリーンランドは楽しいな 太宰府市 後藤 涼那 九歳